

市民意見交換会の開催結果

留萌市地域公共交通活性化協議会資料

令和4年2月22日

(1) 市民意見交換会の目的・日程等

●目的

- ▶ 留萌市では、地域公共交通活性化協議会において、持続可能な公共交通体系を検討するとともに、市民の皆さんが利用しやすい公共交通の在り方について協議をしています。この度、「こんなバスなら乗りやすい」「あんなバスなら乗ってみたい」といった声を集めるため『みんなで考える 公共交通市民意見交換会』を開催いたします。
- ▶ 本活性化協議会が検討をしている「今よりちょっと便利なバス」の情報提供も考えております

●日程・場所・内容

- ▶ 日程・会場
 - ・【第1回】12月18日(土) 10:30～ 1時間程度
るもいプラザ2F にぎわい広場
 - ・【第2回】12月18日(土) 13:30～ 1時間程度
るもいプラザ2F にぎわい広場
 - ・【第3回】12月22日(水) 18:30～ 1時間程度
留萌市中央公民館2F 研修会議室1号
- ▶ 内容
 - ・「今よりちょっと便利なバス」のご紹介
 - ・公共交通市民アンケート結果等のご報告
 - ・皆様との意見交換
(こんなバスなら乗りたい、今はこんなところが不便など)

(2) 説明資料

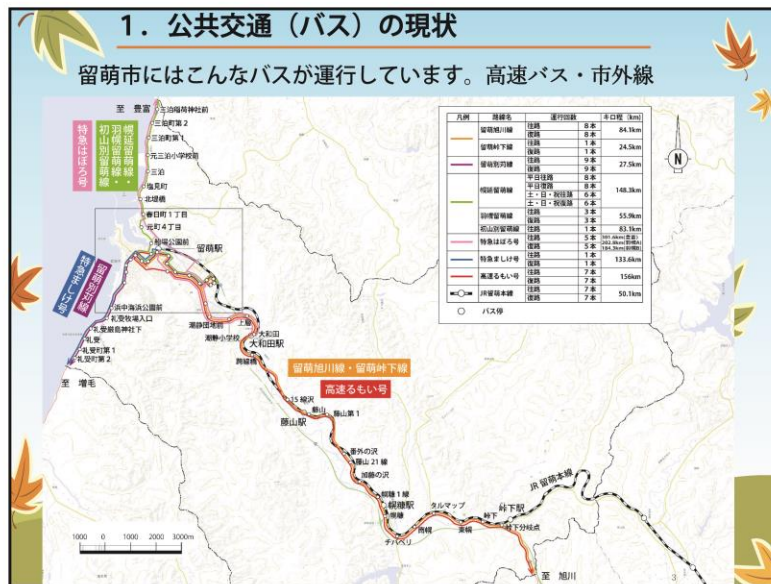


1

○構成

1. 公共交通（バス）の現状
2. アンケートで得られた市民の声
3. 「今よりちょっと便利なバス」のご紹介
4. 皆様との意見交換

2



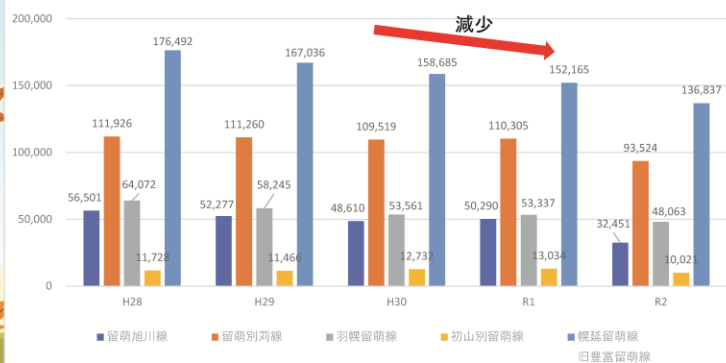
3



4

利用客が減少したため、バス路線を再編しました。
でも減少が止まりません。

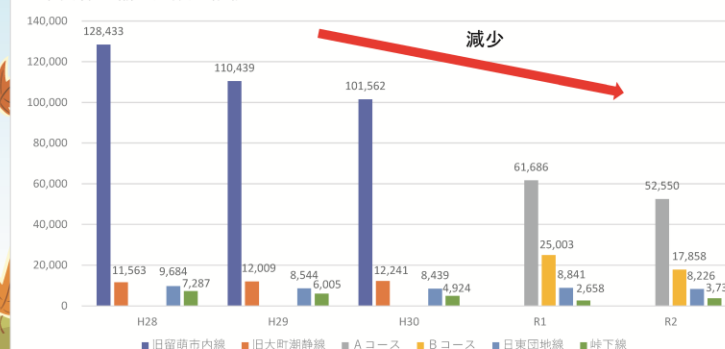
○市外線の輸送人数の推移



5

利用客が減少したため、バス路線を再編しました。
でも減少が止まりません。

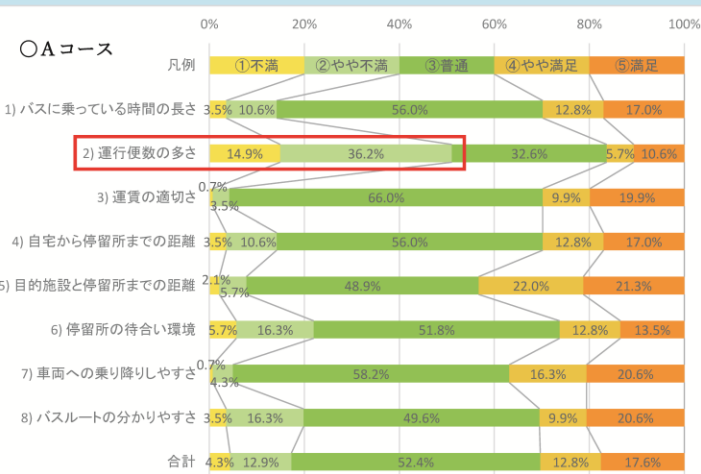
○市内線の輸送人数の推移



6

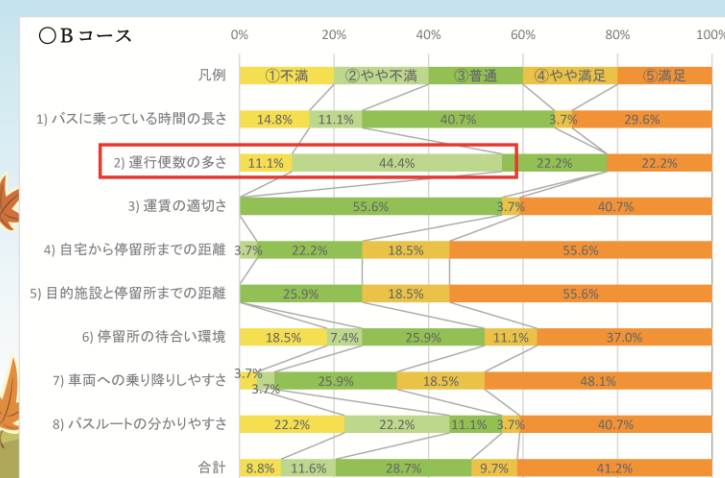
2. アンケートで得られた市民の声

市内線の満足度は「便数」に「不満」を持っています。

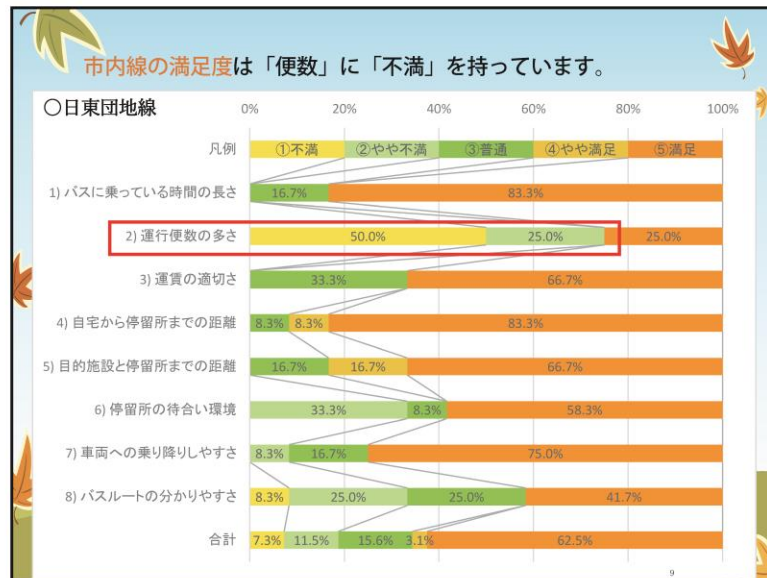


7

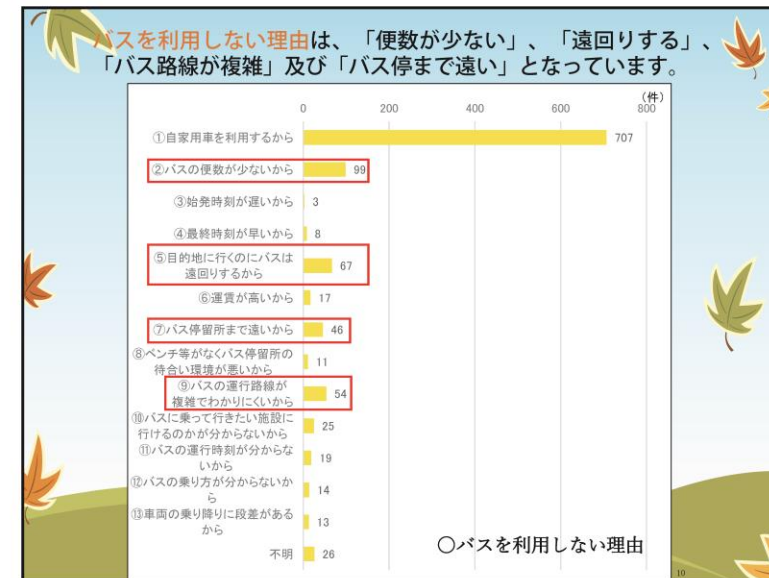
市内線の満足度は「便数」に「不満」を持っています。



8



9



10

市内線を利用している方から、106件の声を聞きました。

○53人が「増便」
 ○19人が「停留所環境の向上」
 ○14人が「複雑なバスルートの解消」
 ○7人が「停留所の増設」
 ○4人が「バスルートの遠回りの解消」
 などを希望しています。

11

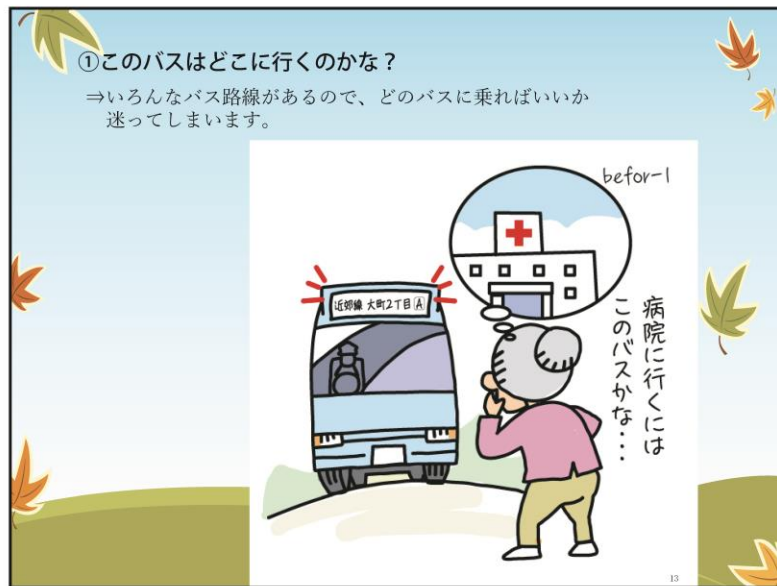
3. 「今よりちょっと便利なバス」のご紹介

市民アンケート結果等を受け、「便利なバス」を提案します。

- ・「今までのバス」は、決められたバスルートを決められた時刻表により運行します。

この運行だと…

12



13



14



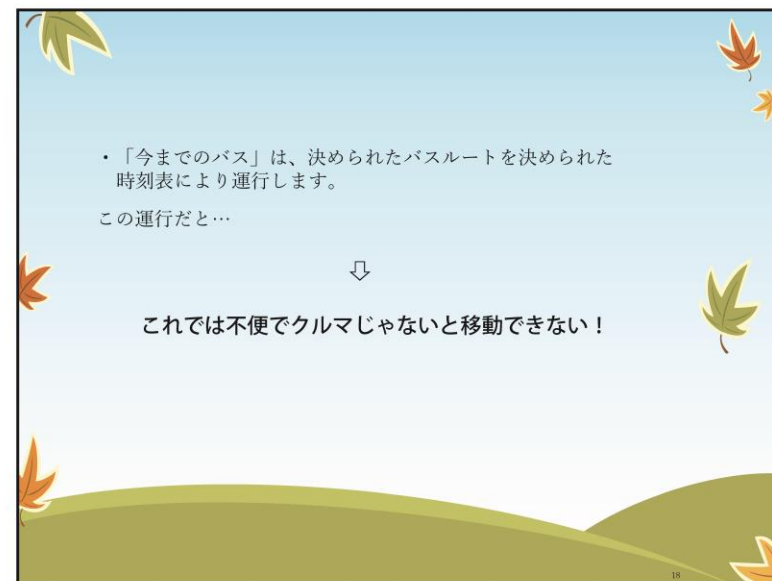
15



16



17



18



19



20



21



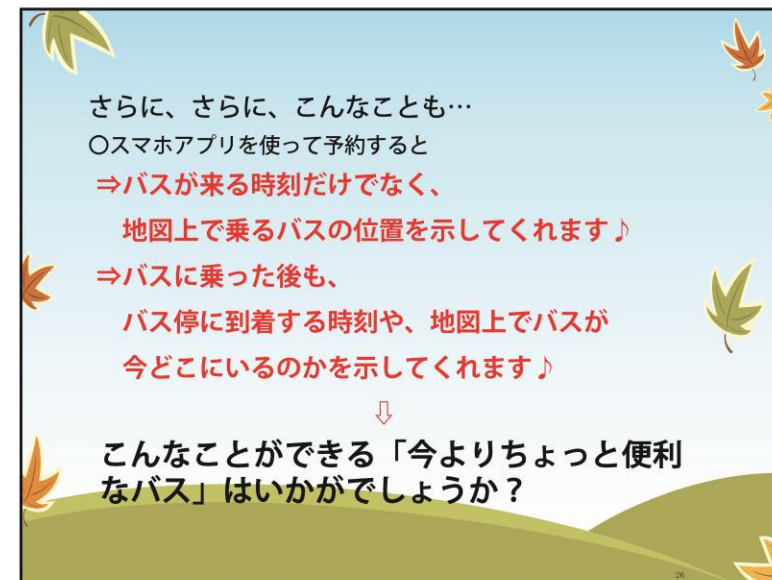
22



23



24



(3) 市民のご意見

●出席者の人数

- ▶ 【第1回】 12月18日（土） 10：30～
るもいプラザ2F にぎわい広場

出席者数：1人

- ▶ 【第2回】 12月18日（土） 13：30～
るもいプラザ2F にぎわい広場

出席者数：4人

- ▶ 【第3回】 12月22日（水） 18：30～
留萌市中央公民館2F 研修会議室1号

出席者数：4人

合 計：9人

●こんなところが不便

▶【複雑で遠回り、分かりにくい、終バスが早い、停留所に行きにくい、時刻表が分からない】

- ・ Aコースはバス路線が複雑で遠回りするところが使いにくい。
- ・ Bコースはバスの進行方向と行先が逆となる区間があるので間違えた。
- ・ 日東団地線の最終バスが早すぎる（16時で終わり）。
- ・ 文化センター、スポーツセンター、市役所にはバスを使っていきにくい。
- ・ 自宅から停留所まで高低差があり、冬だと徒歩アクセスしづらい。
- ・ 13時は1時の表示も考えないと分からないので、バス時刻表の見方が分からない。

●「ちょっと便利なバス（A I 運行バス）」について

▶ 【割安、神居岩温泉に行ける、バス停までの遠さは解消】

- ・すごく良いと思った。
- ・タクシー料金と比較すると割安と思った。
- ・温タクでしか行くことができない神居岩温泉にも行けるようになる。
- ・きめ細かくバス停留所を設定できるので、バス停留所が遠い不便さは解消できる。

▶ 【運賃が高い】

- ・運賃がバスと同額ぐらいでなければ使わない。

▶ 【まずは乗ってもらって便利さを実感してもらう】

- ・乗ってもらうためには無料券や格安券などを考える。
- ・初めての利用にためのお試しクーポン券があると良い。

▶ 【乗車方法の周知徹底】

- ・町内会の回覧や説明会の開催など十分に周知して欲しい。
- ・乗り方の体験会を開催するなど、最初は力を入れなければならない。

●こんなバスなら乗りたい

▶【バスラッピング、電子マネー、公共施設への停留所配置、情報発信】

- ・かわいらしい萌っ子キャラクターでラッピングして、「使ってみたい」と思わせる。
- ・電子マネーやバスカードでの支払いにするとお年寄りでも使いやすい。
- ・公共施設には必ずバス停を配置する。
- ・バスの車内アナウンスで、お店の情報を発信する。

●その他、バスの利用を増やすために

▶【ノーマイカーデー、乗り方教室、バスを使うことを心掛けたイベントの開催、 分かりやすい時刻表、バスロケーションシステム、自家用車と高速バスの乗継ぎ空間 等】

- ・市民のほとんどは自家用車を使っているので、ノーマイカーで利用を働きかける。
- ・一度もバスに乗ったことがない人のために、バスの乗り方教室を行う。
- ・バスを身近に感じることができる取組みを行う。
- ・公共施設等のイベントはバス時刻を考えた開催時刻にする。
- ・高齢者のためのバスの乗り方教室や時刻表の見方などの説明会を行う。
- ・時刻表は一路線ずつ路線図と時刻がレイアウトされるものでつくる。
- ・バス路線の除排雪を充実する。
- ・バスは今どこにいいのかを把握できるバスロケーションシステムがあれば良い。
- ・自宅から自家用車で行って、高速バスに乗り換えることができるようにして欲しい。
- ・車内に大きな荷物を置けるスペースをつくって欲しい。